

授業科目(ナンバリング)	機能解剖学 (CC216)			担当教員	※橋口 浩治		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択 (コース必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本科目では人体の動きを理解する上で必要となる骨、関節、筋、神経などの解剖学的用語について学ぶと共に、運動学的側面から人体の機能についての理解を深める。また、スポーツ外傷・障害、リハビリテーション、トレーニング指導と関連づけて学ぶことにより、トレーニング指導などについての基礎知識を身に付ける。最終的に運動・スポーツによる競技力の向上や、健康の維持・増進のための機能解剖学的メカニズムを理解することを目的とする。							②⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	「骨」「筋(特に骨格筋)」、「神経」、「心臓」、「肺」、「血管」といった身体を構成する組織の構造(形態)や機能について説明できる。また、身体活動が各組織の構造(形態)や機能等に及ぼす影響について説明できる。				・ 小レポート ・ 定期試験		20% 50%
情報収集、分析力	身体を構成する組織の構造や機能について、自分が行う競技に応用して考えることができる。				・ 小レポート		15%
コミュニケーション力	グループワークの際に、相手に該当部位の機能解剖を説明できる。				・ 授業への参加意欲		15%
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業への参加意欲 15%、小レポートを 35%、定期試験を 50%とする。小レポートについては、セクション毎に行う。小レポートの内容については、設定された課題に対して、講義内容を元に自分の意見等を述べるかたちとする。また小レポートについては、提出した翌週にその内容に関する解説を行う。							
授業の概要							
学生にテーマ毎にプリントを配布。そのプリントに沿ってパワーポイントを用いて授業を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない 参考書：①「公認アスレティックトレーナーテキスト② 運動器の解剖と機能」(公益財団法人日本スポーツ協会) ②「身体運動の機能解剖」中村千秋(著), 医道の日本, 2002 指定図書：「公認アスレティックトレーナーテキスト② 運動器の解剖と機能」(公益財団法人日本スポーツ協会)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業に興味を持ち、積極的に質問や意見をしてほしい。ワークの際は積極的に身体を動かし実践を通して学んでほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス、体表の区分、運動の表し方	授業の進め方、レポート、試験、評価の方法等の説明。体表の区分、運動の表し方	予習：シラバスを読む。事前配布資料にて運動の表し方を確認する（180分）
2	骨・骨格筋の解剖・関節（1）	<ul style="list-style-type: none"> 骨の構造と骨の微細構造 関節 ・ 運動方向 靭帯の構造と機能 	予習：全体の骨の図や写真などを確認する。復習：運動方向について動きを交えて理解する。（180分）
3	骨・骨格筋の解剖・関節（2）	<ul style="list-style-type: none"> 筋・腱の構造と機能（骨格筋の構造～筋収縮の様式） 筋・腱の構造と機能（筋 - 腱複合体～筋収縮と関節運動の関係） 	予復習：筋の付着部位、機能、および形態による分類を把握する。また、主要な骨格筋の名称およびその主な機能を把握する。（180分）
4	骨格筋の神経支配	骨格筋の神経支配	予復習：骨格筋の神経支配について把握する。（180分）
5	上肢帯の運動（1）	<ul style="list-style-type: none"> 肩関節の運動 肘関節の運動（肘関節の骨格～肘関節の運動） 	予復習：上肢帯の運動について把握する（180分）
6	上肢帯の運動（2）	<ul style="list-style-type: none"> 肘関節の運動（肘関節の筋、神経～肘関節の血管、神経） 手関節・手の運動（遠位橈尺関節、手関節） 	予復習：上肢帯の運動について把握する（180分）
7	上肢帯の運動（3）	<ul style="list-style-type: none"> 手関節・手の運動（手関節・手の筋、血管、神経） 小テスト 	予習：上肢帯の運動について把握する 復習：小レポート（180分）
8	下肢帯の運動（1）	股関節の機能解剖と運動（解剖～関節の動き、股関節周囲の筋群、頭の片隅に置いておきたい疾患）	予復習：下肢帯の運動について把握する（180分）
9	下肢帯の運動（2）	膝関節の運動（膝関節の骨格～膝関節の構造、膝関節周囲の筋群、頭の片隅に置いておきたい疾患）	予復習：下肢帯の運動について把握する（180分）
10	下肢帯の運動（3）	足関節・足部の運動（足関節・足部の骨格、足関節周囲の筋群、頭の片隅に置いておきたい疾患）	予習：下肢帯の運動について把握する 復習：小レポート（180分）
11	頚椎の運動	頚椎の運動（関節、筋群、神経）	予復習：頚椎の運動について把握する（180分）
12	胸椎・胸郭の運動	<ul style="list-style-type: none"> 胸椎・胸郭の運動（関節、筋群、神経） joint by joint theory 	予復習：胸椎・胸郭の運動について把握する（180分）
13	腰椎・骨盤の運動	腰椎の運動（関節、筋群、神経）	予習：腰椎、骨盤の運動について把握する 復習：小レポート（180分）
14	筋の収縮様式と筋力（1）	<ul style="list-style-type: none"> 筋の収縮様式 各収縮様式の特徴 	復習：筋の収縮様式について把握する。（180分）
15	筋の収縮様式と筋力（2）	<ul style="list-style-type: none"> トレーニングによる筋力の変化 神経系の改善 筋線維の肥大 筋線維数の変化 	復習：トレーニングによる筋力の変化、およびそのメカニズムについて把握する。（180分）
16	定期試験	筆記試験	予習：定期試験の対策（300分）